

# 大学生の自動車所有と移動意識に 関する実態調査2023

— 一群大生のモビリティ意識に着目して —

秋野 恵理 佐々木 悠人  
江原 彰慶 早川 大翔



# 大学生の自動車所有と 移動意識に関する実態 調査2023

1. 調査の基礎データ
2. 調査結果・分析報告
  - 2-1. 移動手段への意識調査
  - 2-2. 自動車への意識調査
  - 2-3. 自由記述分析について
3. まとめ

# 1. 調査の基礎データ

2020~22年は

群馬大学 情報学部・社会情報学部を対象

サンプルサイズ

2020年 6月 431

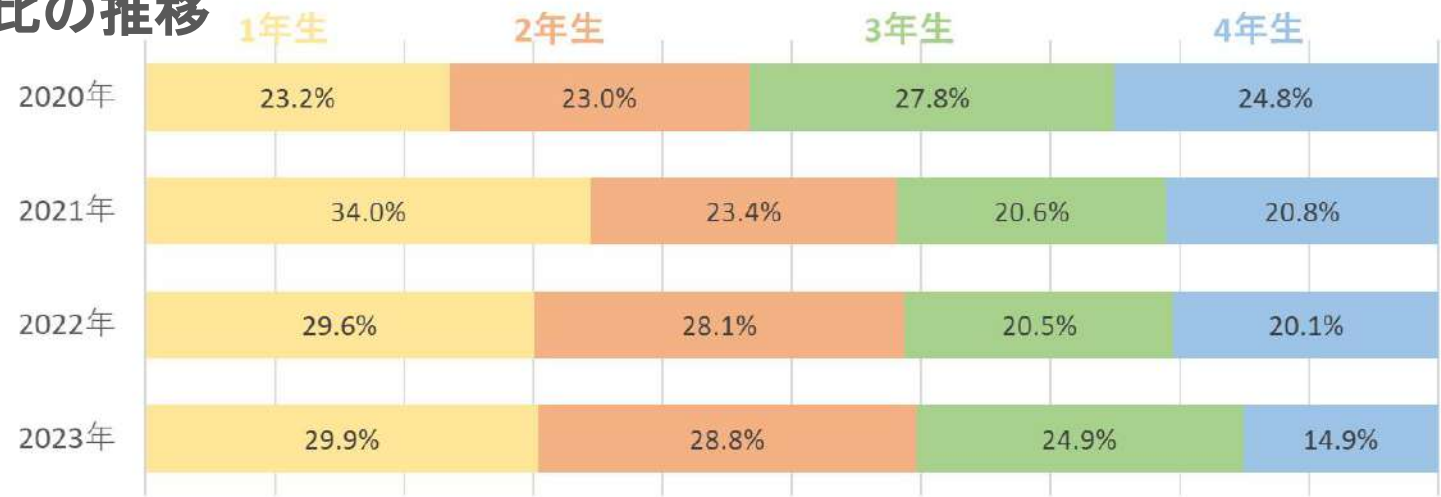
2021年 6月 423

2022年 6月 477

**2023年 10月 489** (全学部を対象)

→情報学部・社会情報学部が96%を占める

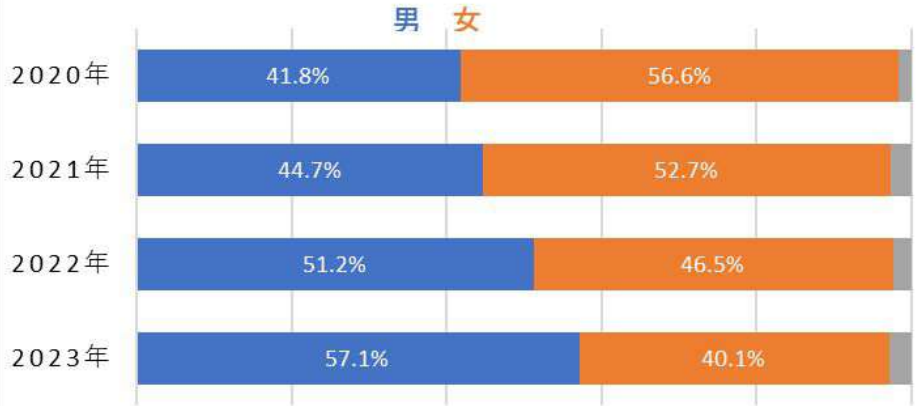
# ○学年比の推移



# ○男女比の推移

	男	女
2020年	41.8%	56.6%
2021年	44.7%	52.7%
2022年	51.2%	46.5%
2023年	57.1%	40.1%

# 性別割合の推移



## ○免許の有無

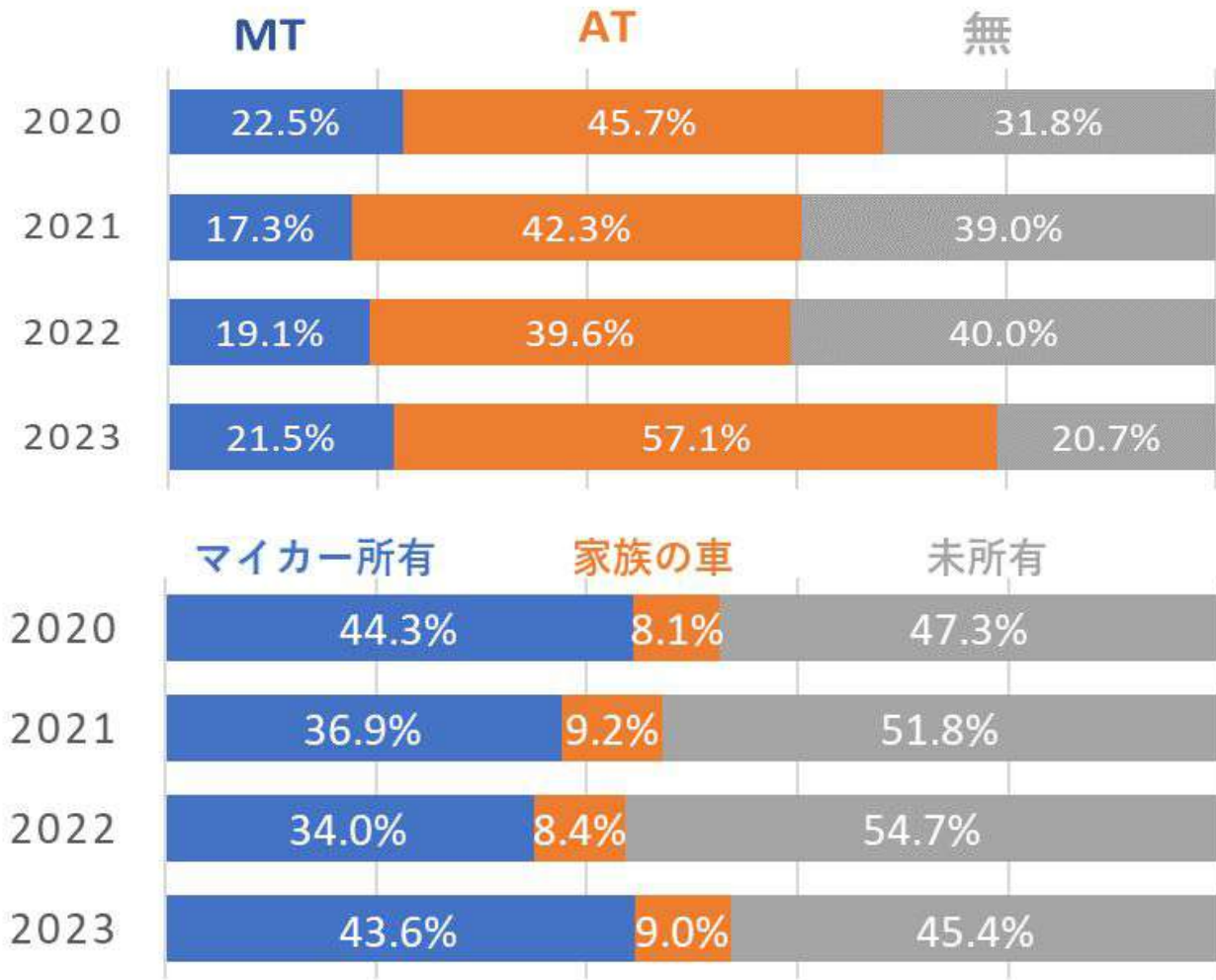
2023年

免許所有率 **78.6%**

## ○マイカーの有無

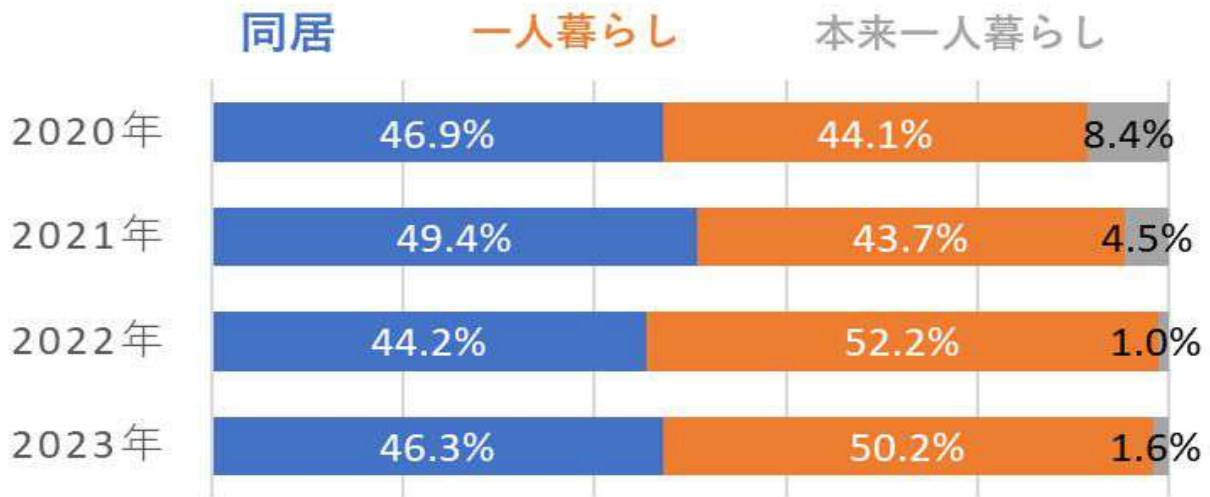
2023年

所持 **43.6%**

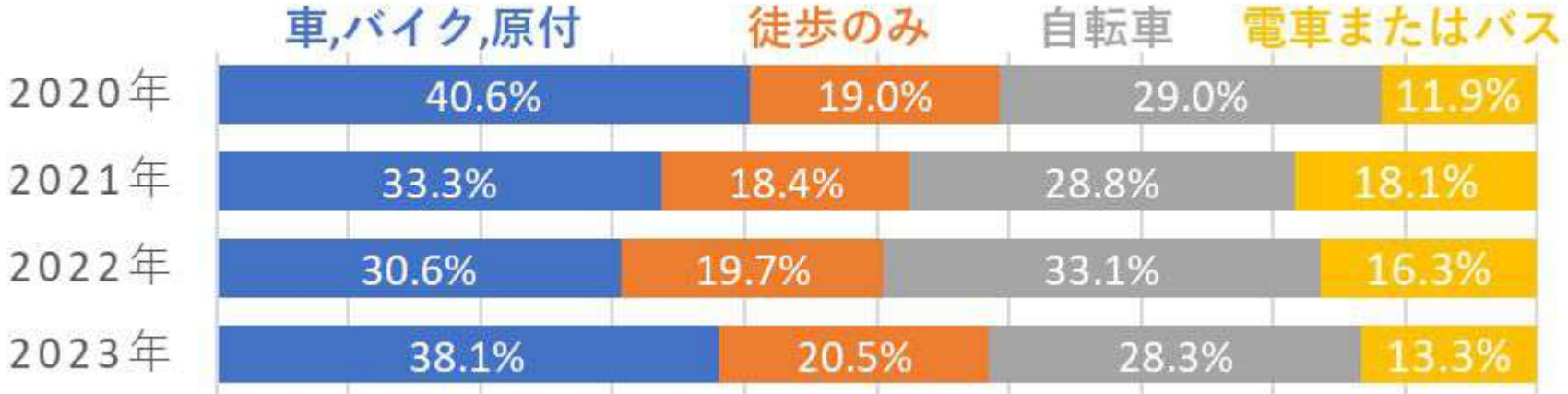


# ○居住形態

2023年  
一人暮らし **50.2%**



# ○通学手段



## **2.調査結果・分析報告**

**2-1.移動手段への意識調査**

**2-2.自動車への意識調査**

**2-3.自由記述分析について**

## 2-1.移動手段への意識調査

### 3つの移動手段について意識調査を行った

- 公共交通機関
- 徒歩・自転車
- 車

コロナの影響は  
あるのか？

どれくらいの頻度で移動しているか？  
どのくらい抵抗があるか？



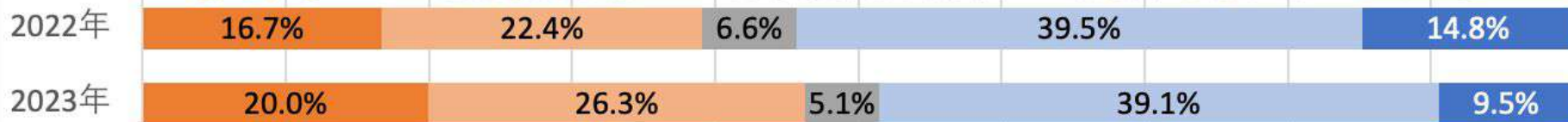
### 「公共交通機関」による移動をしていますか？

よくする

まあまあする

どちらともいえない

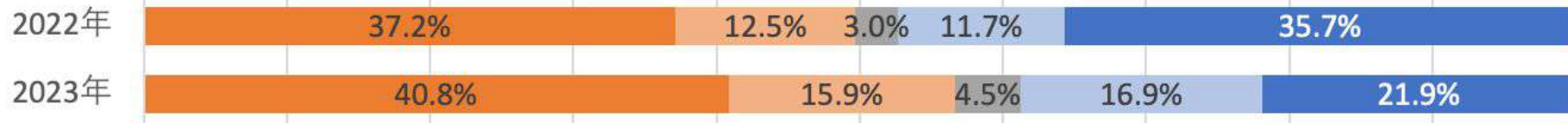
あまりしない  
まったくしない



### 「徒歩・自転車」による移動をしていますか？

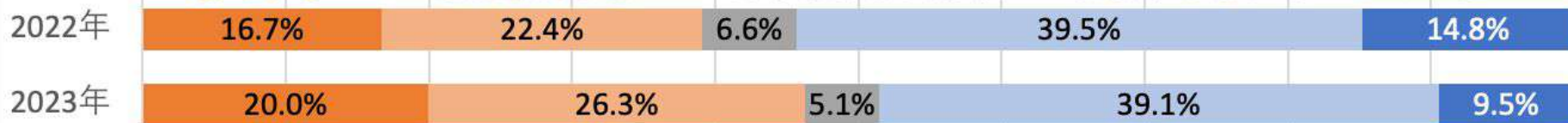


### 「車」による移動をしていますか？



### 「公共交通機関」による移動をしていますか？

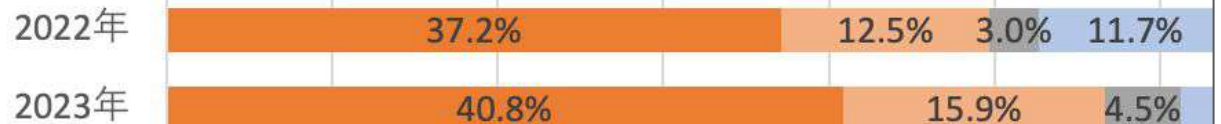
よくする      まあまあする      どちらともいえない      あまりしない      まったくしない



### 「徒歩・自転車」による移動をしていますか？



### 「車」による移動をしていますか？



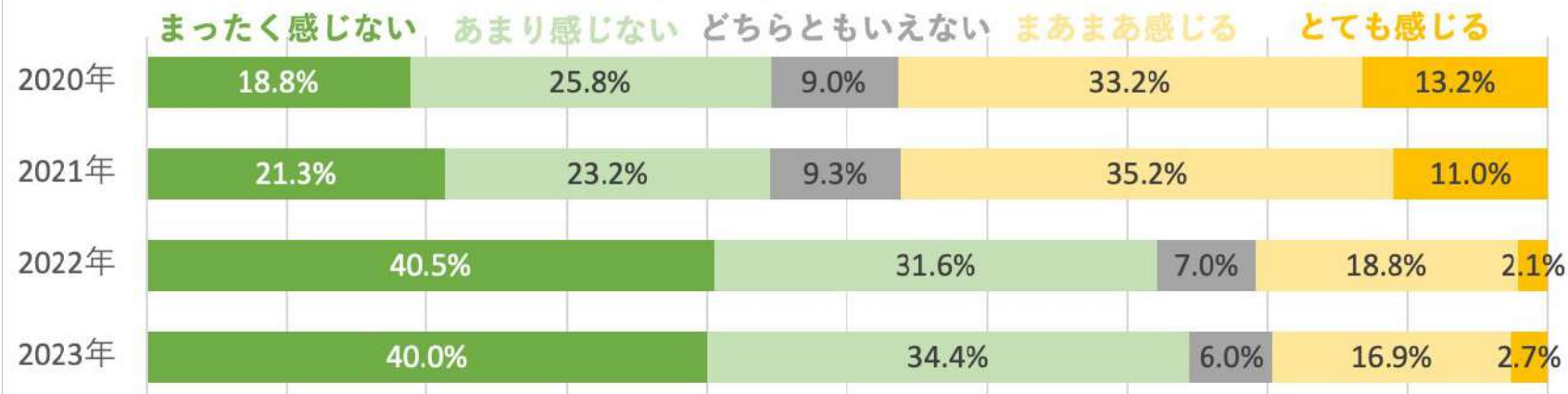
よくする・まあまあする

公共交通機関 **増加**

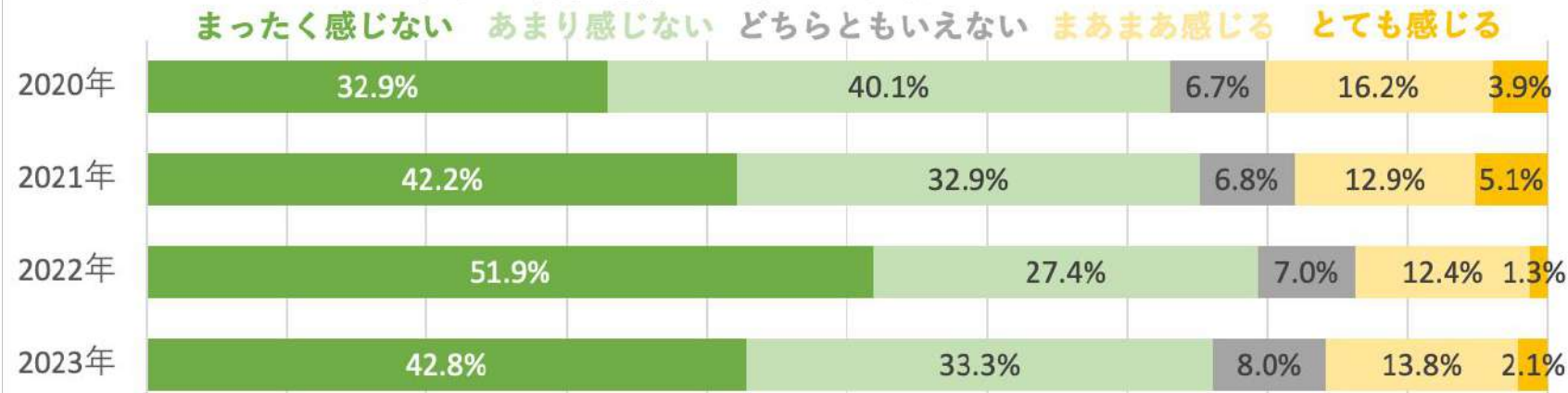
徒歩・自転車 **減少**

車 **増加**

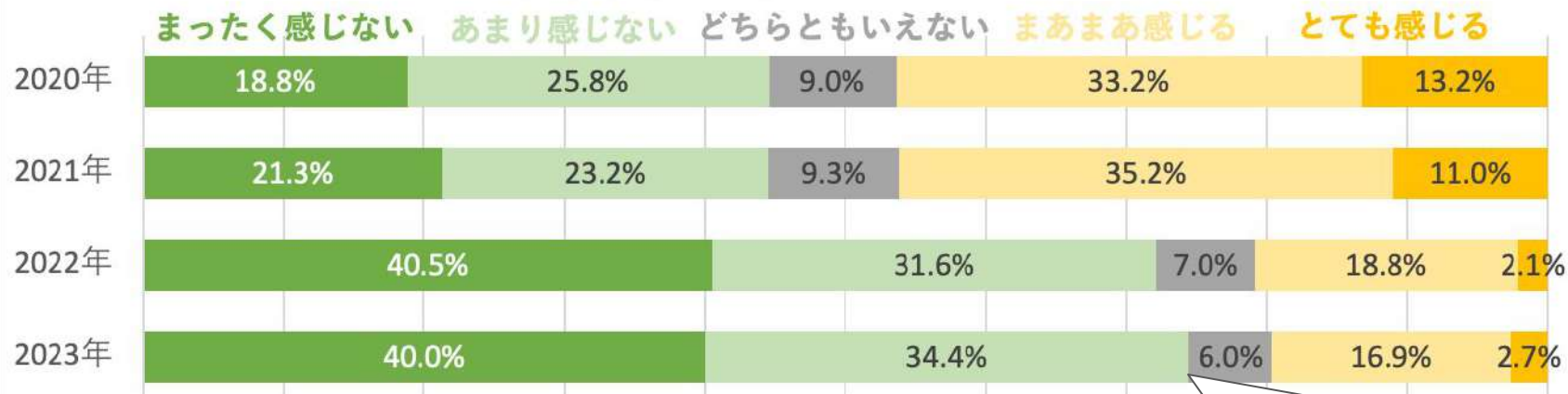
## 「公共交通機関」での移動に抵抗はありますか？



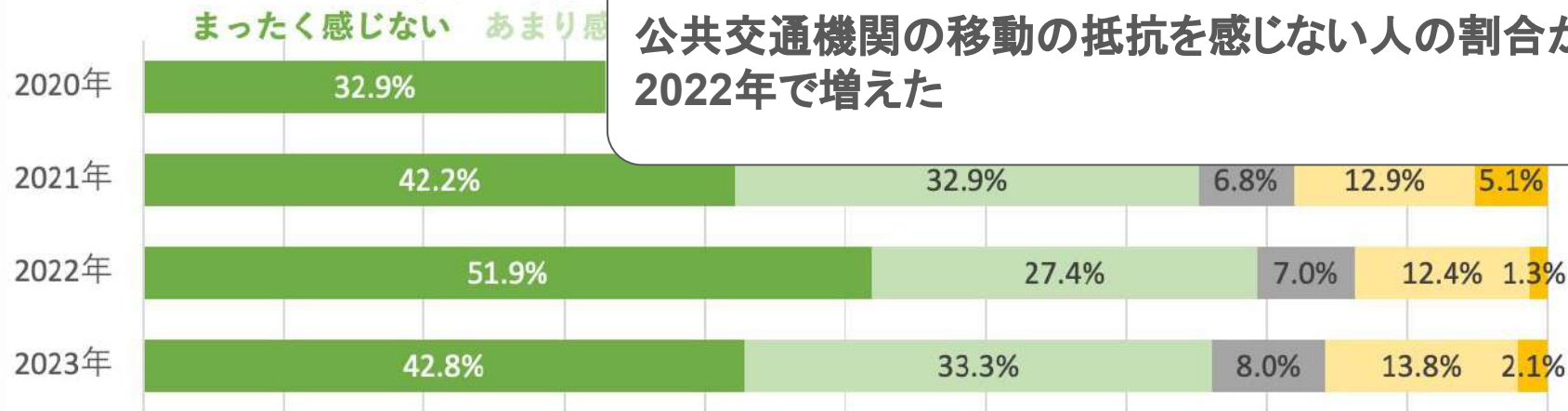
## 「徒歩・自転車」での移動に抵抗はありますか？



## 「公共交通機関」での移動に抵抗はありますか？



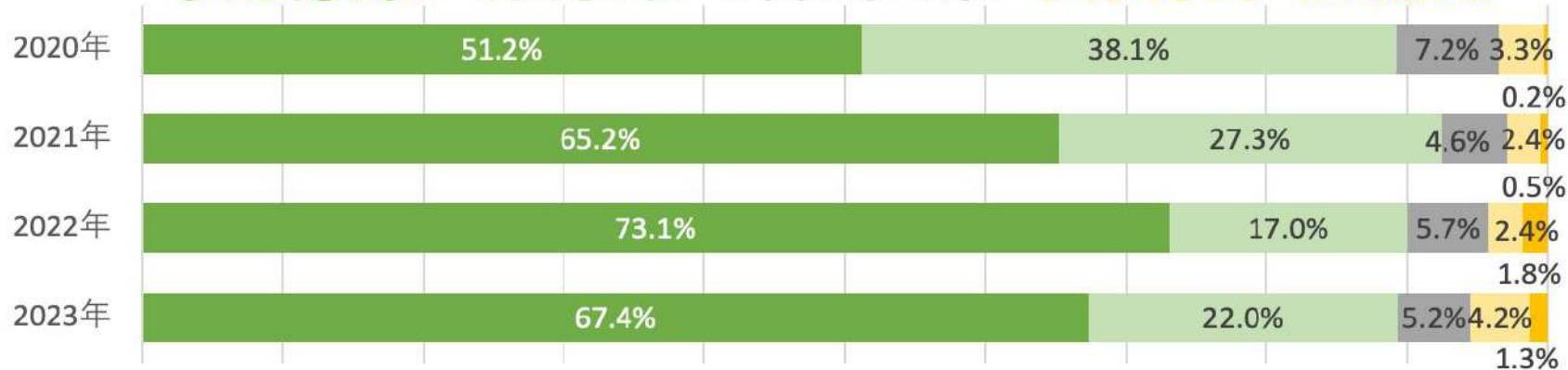
## 「徒歩・自転車」での移動に抵抗はありますか？



公共交通機関の移動の抵抗を感じない人の割合が2022年で増えた

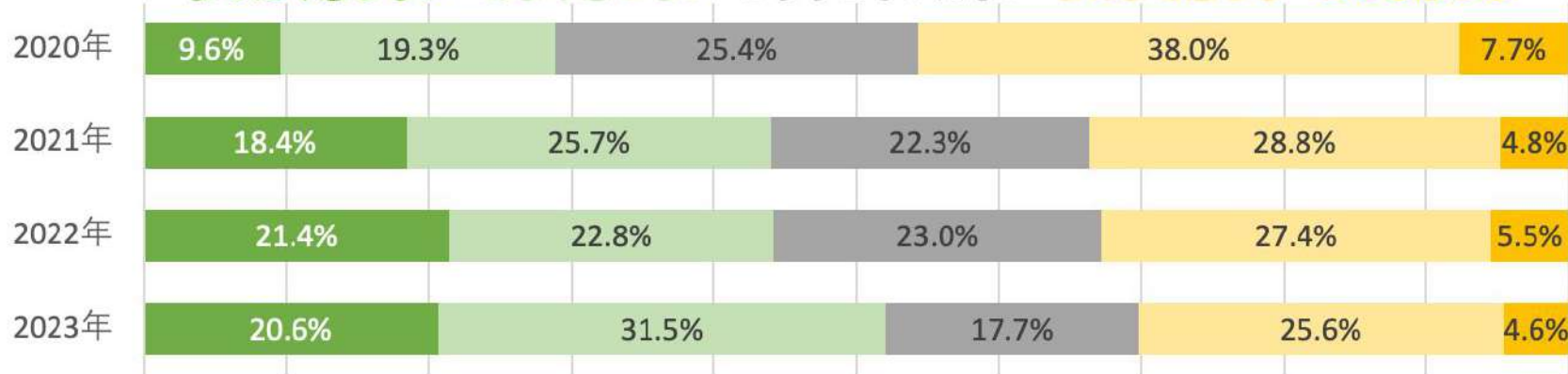
## 「自家用車」での移動に抵抗はありますか？

まったく感じない    あまり感じない    どちらともいえない    まあまあ感じる    とても感じる



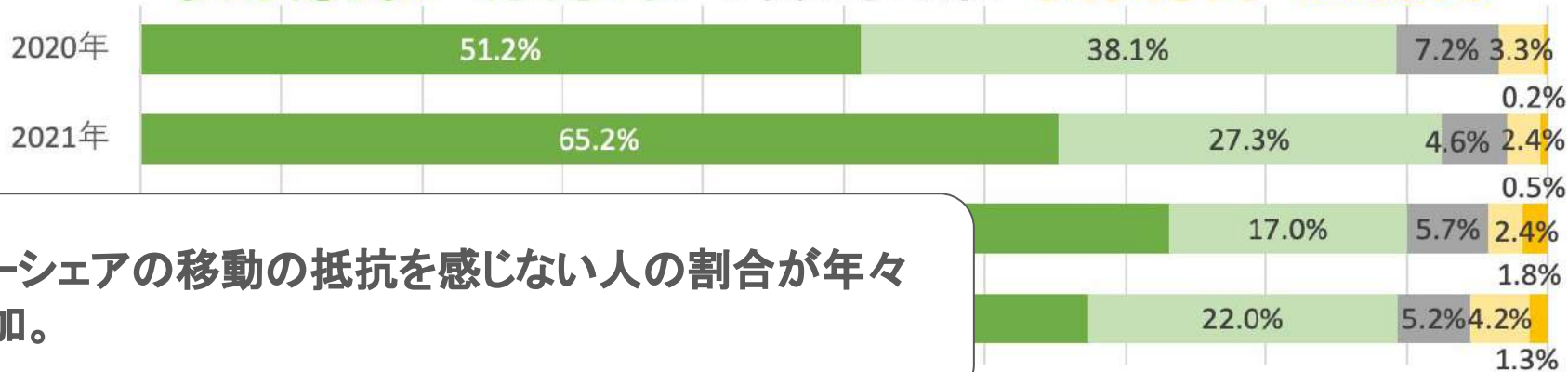
## 「カーシェア」での移動に抵抗はありますか？

まったく感じない    あまり感じない    どちらともいえない    まあまあ感じる    とても感じる



## 「自家用車」での移動に抵抗はありますか？

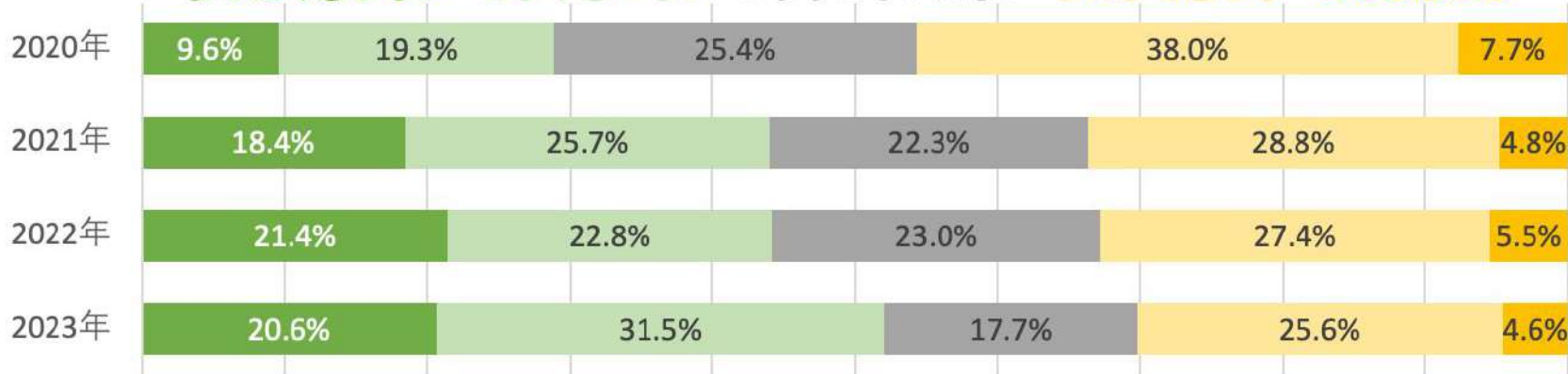
まったく感じない あまり感じない どちらともいえない まあまあ感じる とても感じる



カーシェアの移動の抵抗を感じない人の割合が年々増加。

## 「カーシェア」での移動に抵抗はありますか？

まったく感じない あまり感じない どちらともいえない まあまあ感じる とても感じる



## 2-2. 自動車への意識調査

### Q29~30 車の必要性について

- ・所有する必要性
- ・乗る必要性

⇒4年間の比較

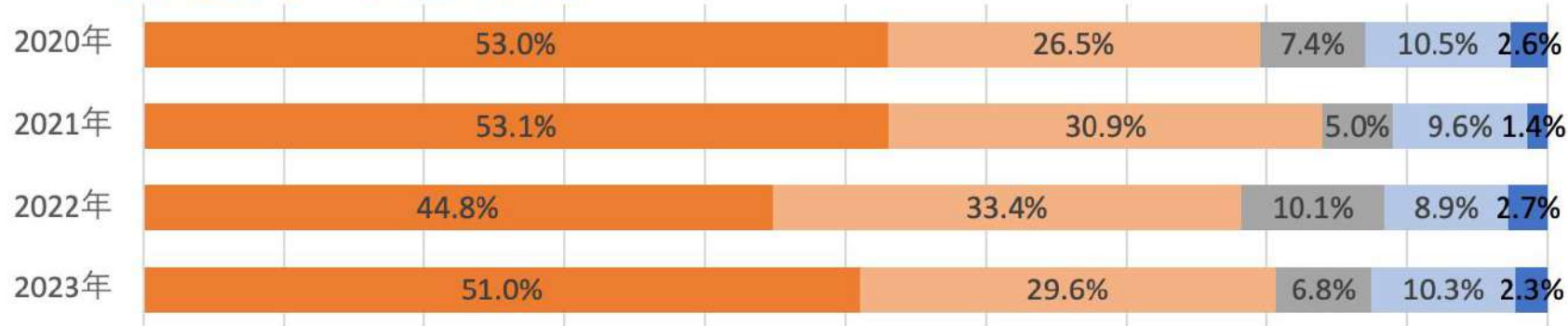
### Q34~38 車の価値について

- ・移動手段
- ・運転を楽しむもの
- ・親しい人と楽しみをもたらすもの
- ・個性を表すアイテム
- ・ステータスを表すもの



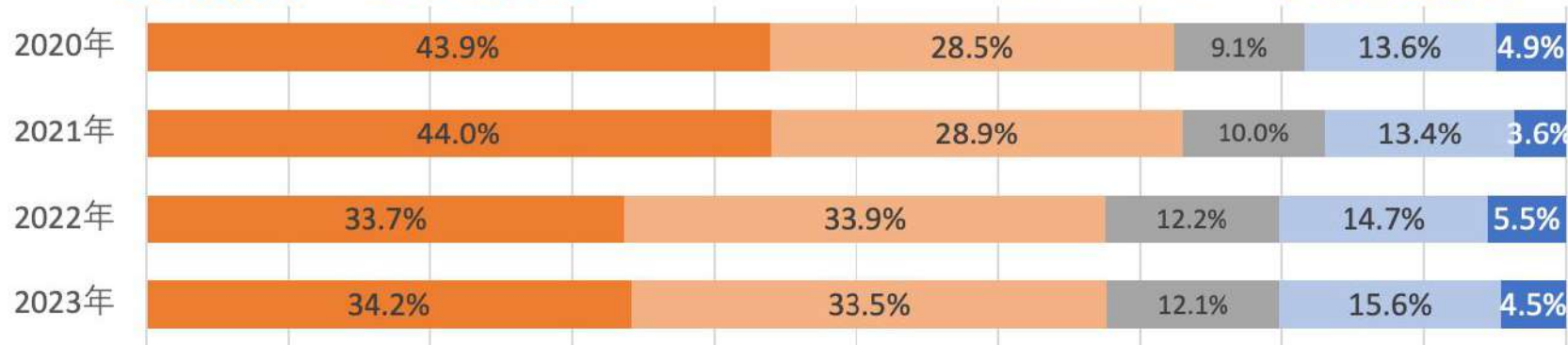
## 車に対して「乗る」必要性を感じていますか？

とても感じる    まあまあ感じる    どちらともいえない    あまり感じない    まったく感じない



## 車に対して「所有する」必要性を感じていますか？

とても感じる    まあまあ感じる    どちらともいえない    あまり感じない    まったく感じない

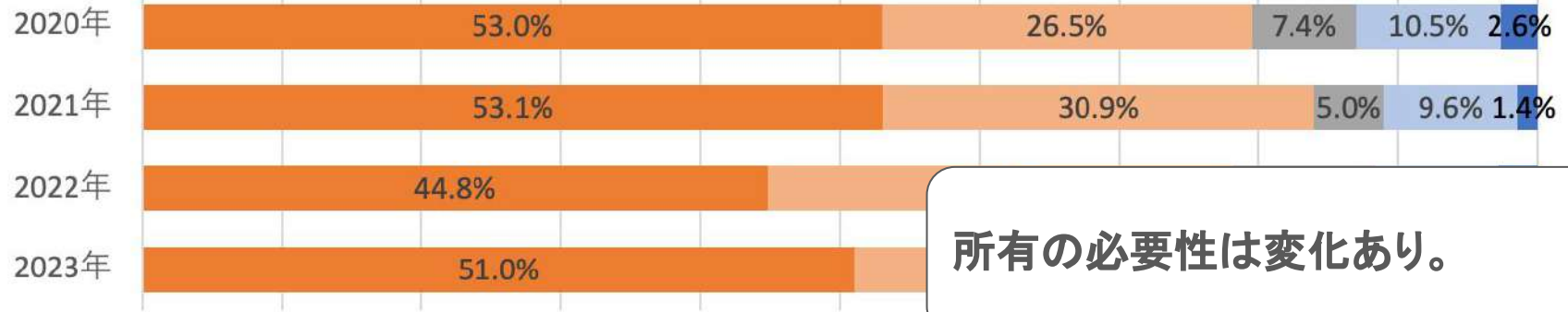






## 車に対して「乗る」必要性を感じていますか？

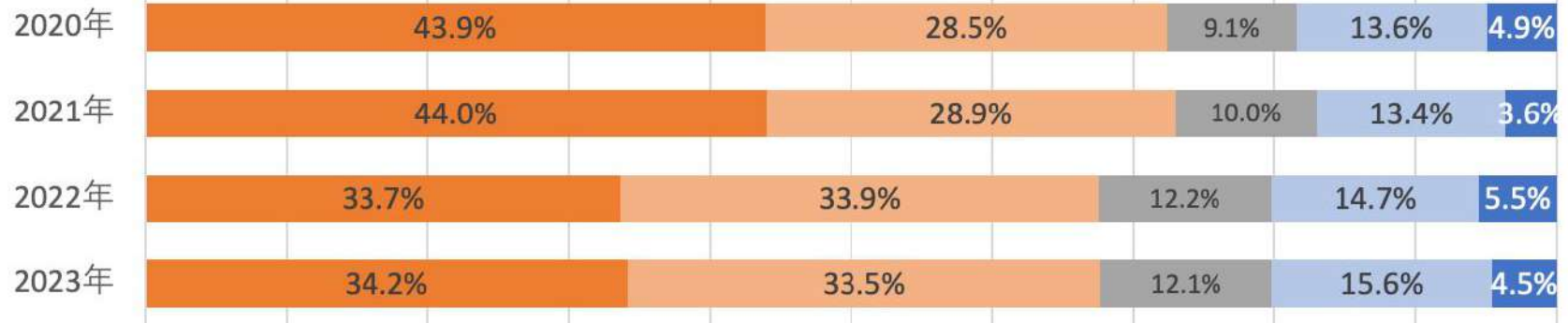
とても感じる    まあまあ感じる    どちらともいえない    あまり感じない    まったく感じない



所有の必要性は変化あり。

## 車に対して「所有する」必要性を感じていますか？

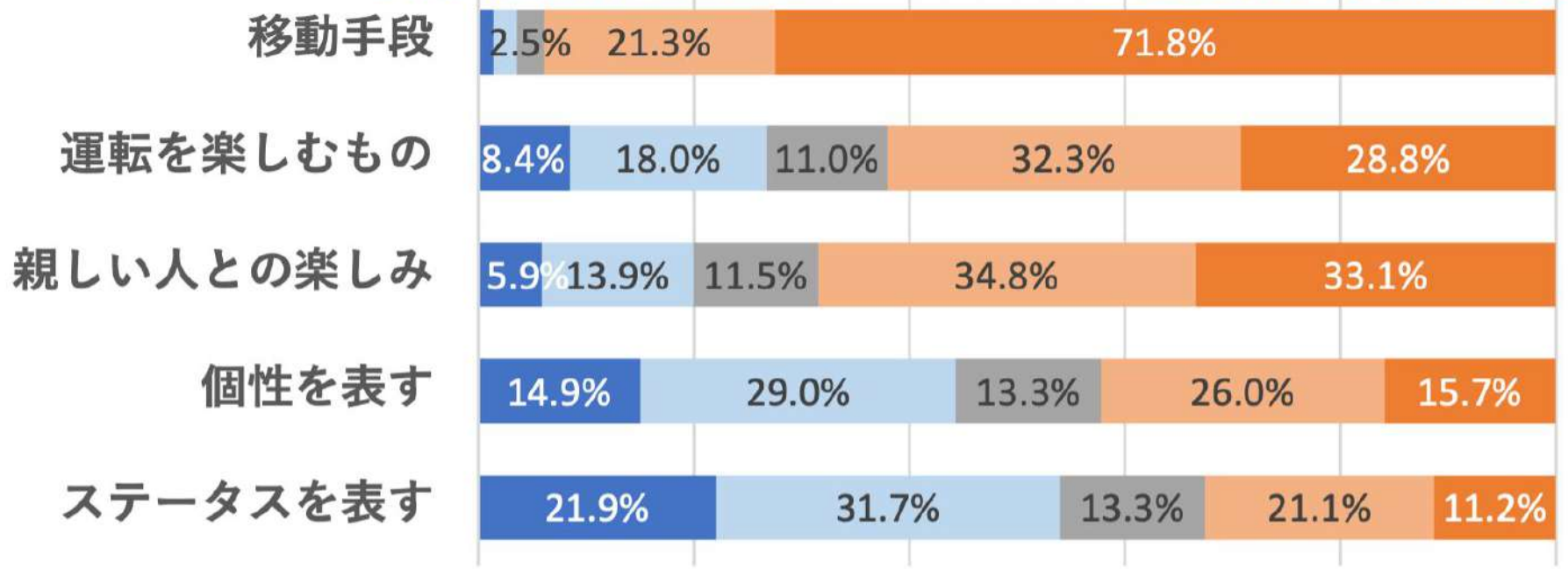
とても感じる    まあまあ感じる    どちらともいえない    あまり感じない    まったく感じない



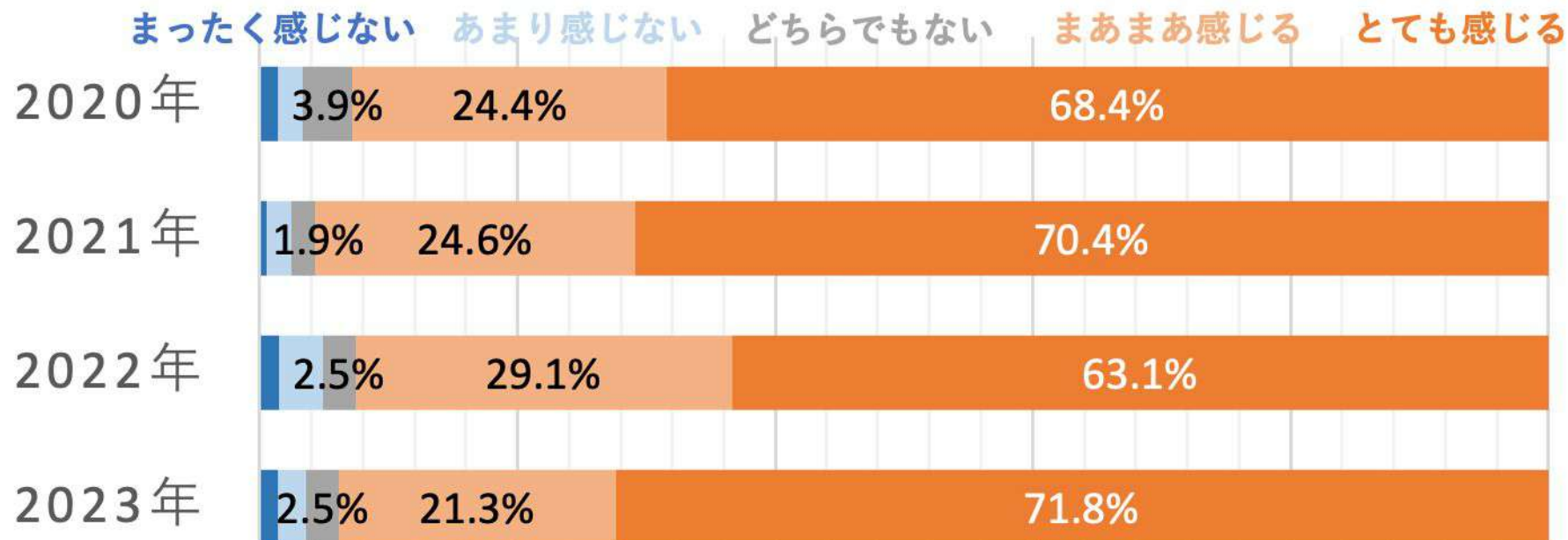


# 車の価値についての質問 まとめ(2023年)

まったく感じない    あまり感じない    どちらでもない    まあまあ感じる    とても感じる

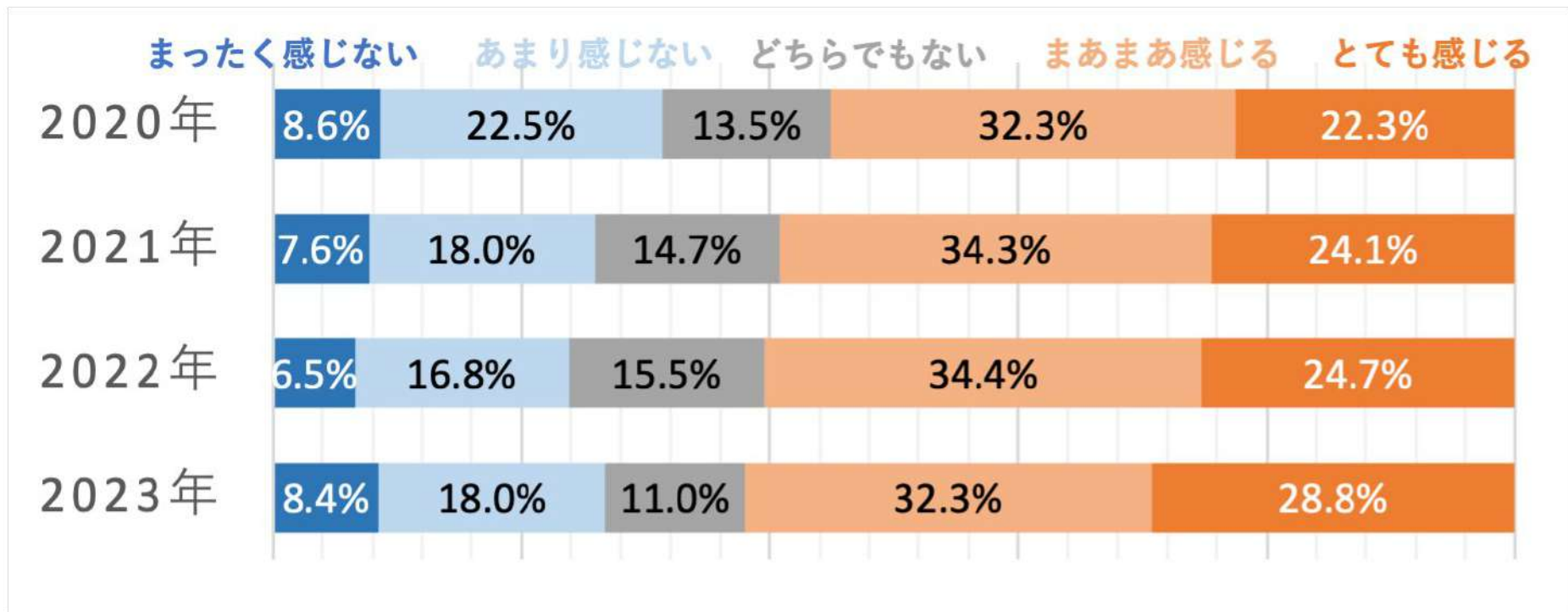


## Q34.車に対して「移動手段」として価値を感じているか



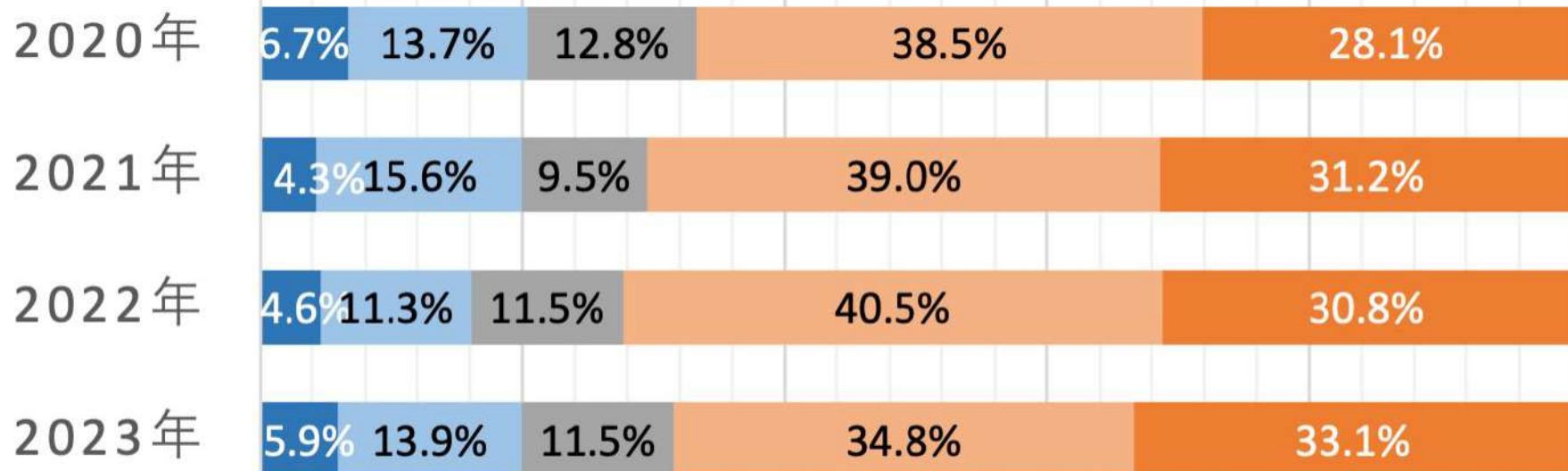


## Q35.車に対して「**運転を楽しむもの**」として価値を感じているか

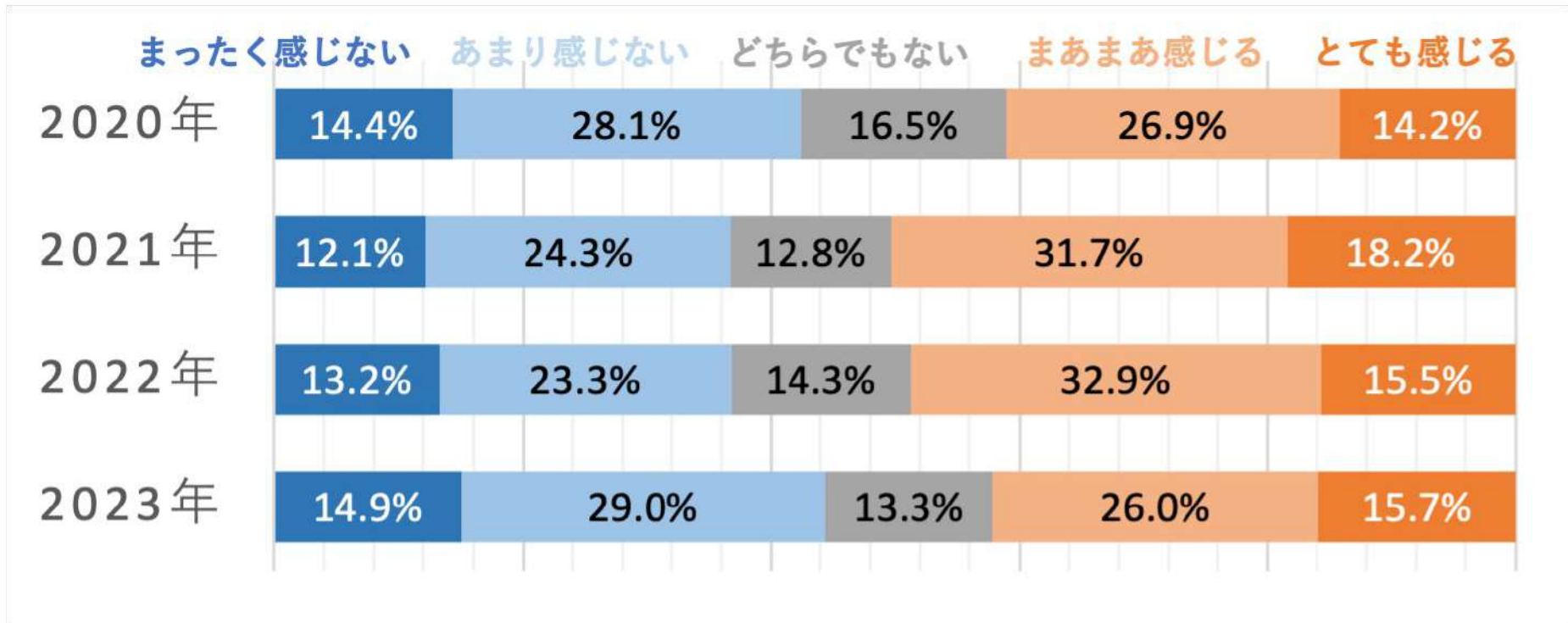


# Q36.車に対して「親しい人との楽しみをもたらすもの」として価値を感じているか

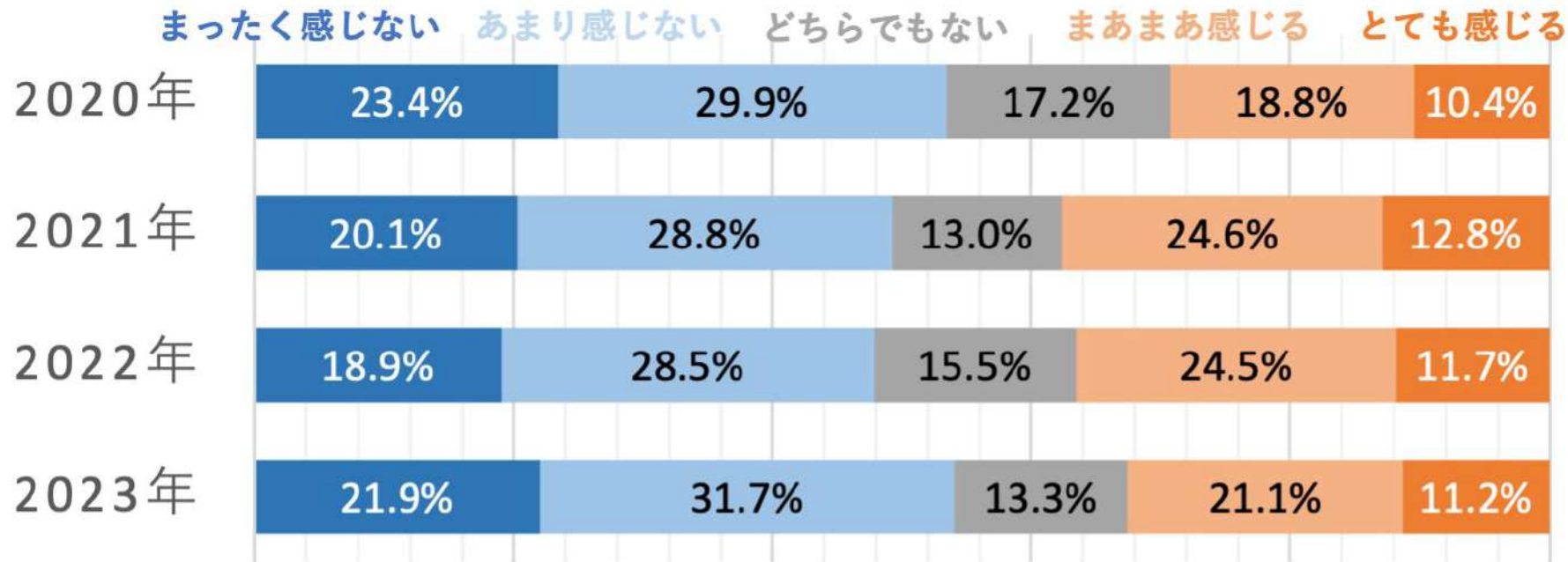
まったく感じない    あまり感じない    どちらでもない    まあまあ感じる    とても感じる



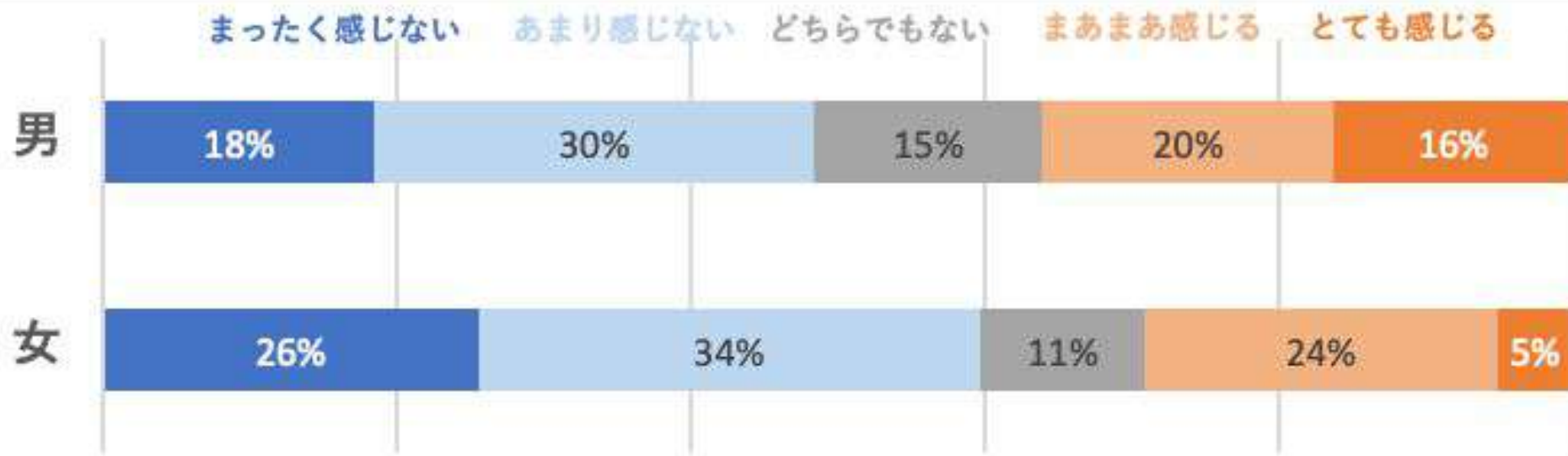
# Q37.車に対して「個性を表すアイテム」として価値を感じているか



# Q38.車に対して「ステータスを表すもの」として価値を感じているか

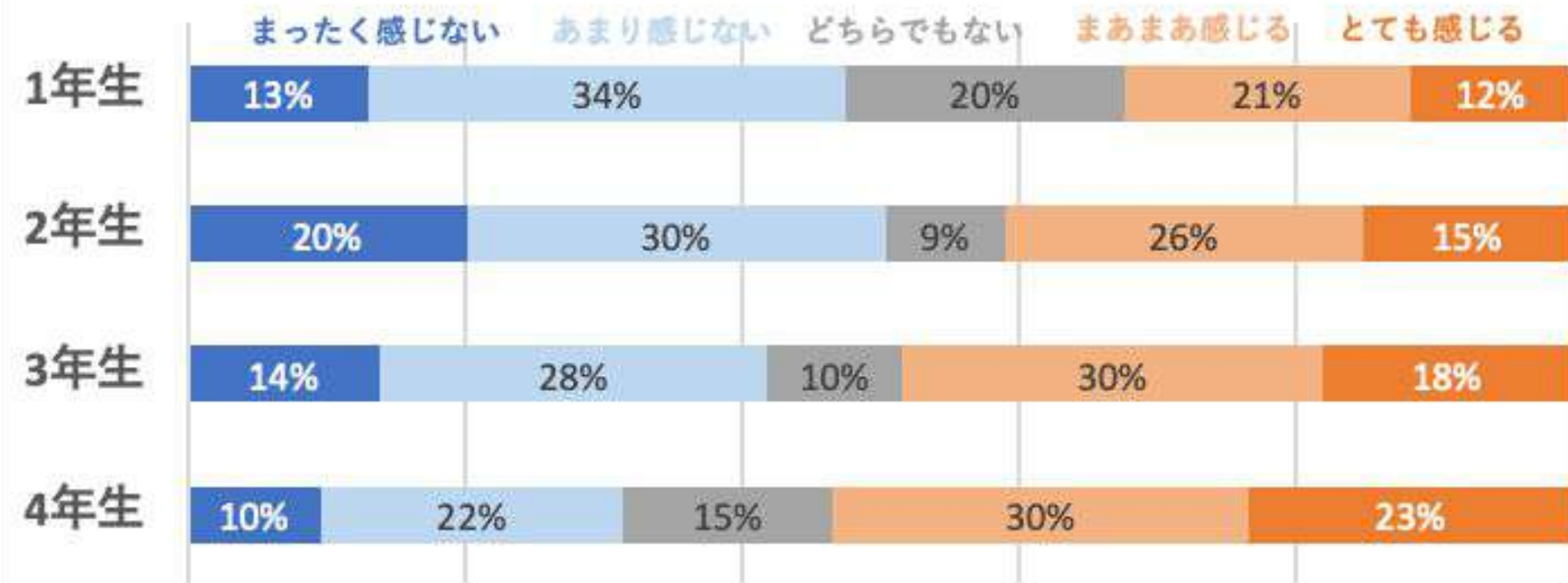


# ステータス × 性別 (2023年)





## 個性を表すアイテム × 学年 (2023年)



# ◎わかったこと

- 公共交通機関の移動の増加
- カーシェアの抵抗がなくなるなど

コロナ明けにより移動が活発になった動きが見られた。

車が単なる移動手段ではなく、

運転を楽しむもの・人と楽しむものとしてみるひとが増えてきた。

# 自由記述分析の報告

## ■ 分析の流れ

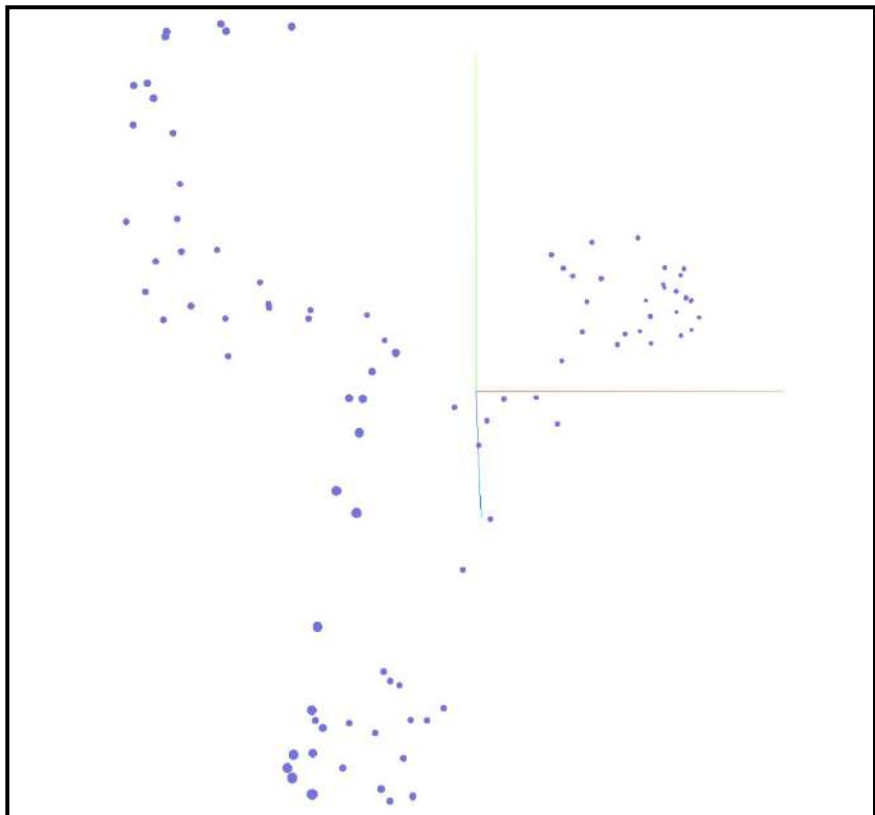
- 1. 自由記述の各回答をベクトル化する
  - ▶ Sentence-BERTというモデルを用い, 文脈を加味した計算をする
- 2. 可視化により解釈しやすい形にする
  - ▶ UMAPアルゴリズムにより, 回答を低次元空間に表示させる
- 3. 似た回答同士をグループ化し, 回答の傾向を考察する
  - ▶ グループ化には, k-means法を用いる
  - ▶ 必ずしも正確にグループ化できないことに注意

上の作業を各自由記述の質問に対して行った

## ■ Q27.「カーシェアによる移動」への抵抗に対する理由

- 回答者166人
- 本質問の直前の質問Q26で、回答者は「カーシェアでの移動」への抵抗の有無を回答している
- 「まったく感じない」と「あまり感じない」(45人),「まあまあ感じる」と「とても感じる」(93人) の2グループに分割して分析をする

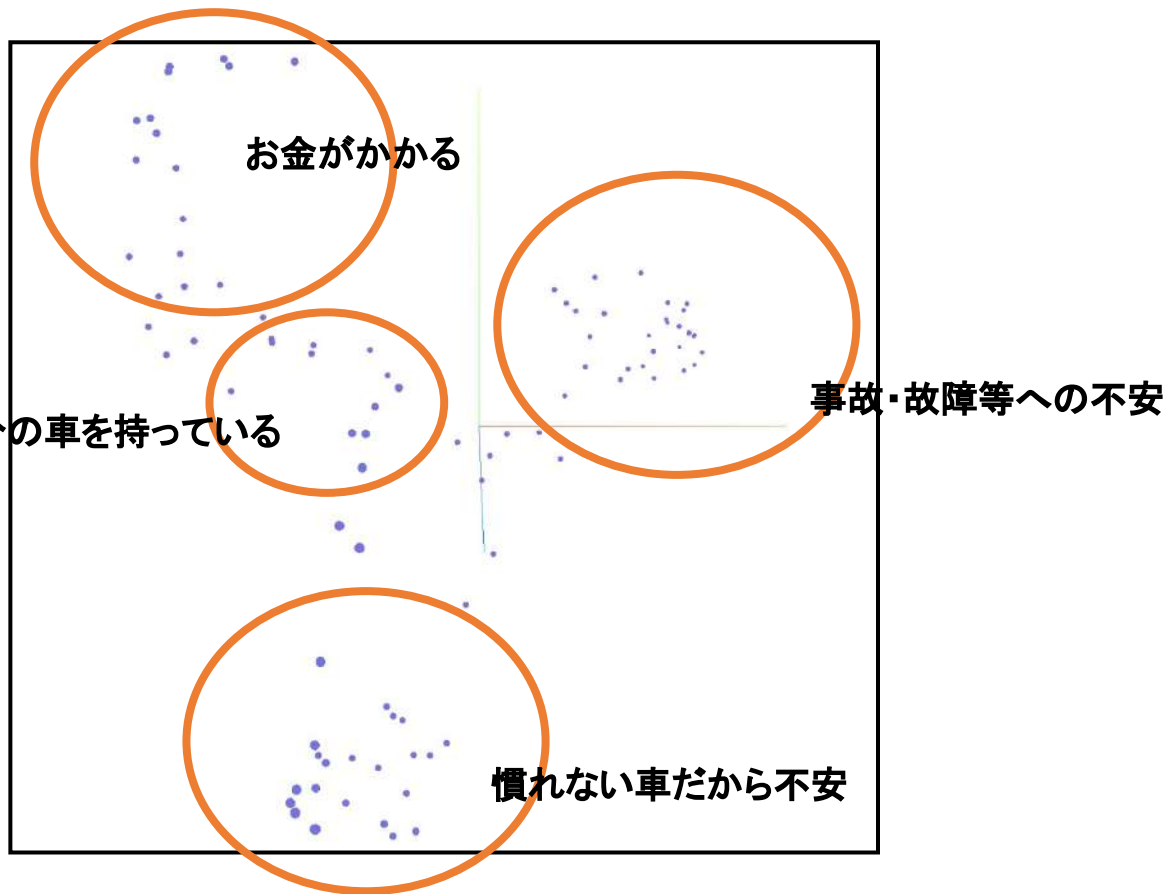
# 抵抗ありの記述を可視化する



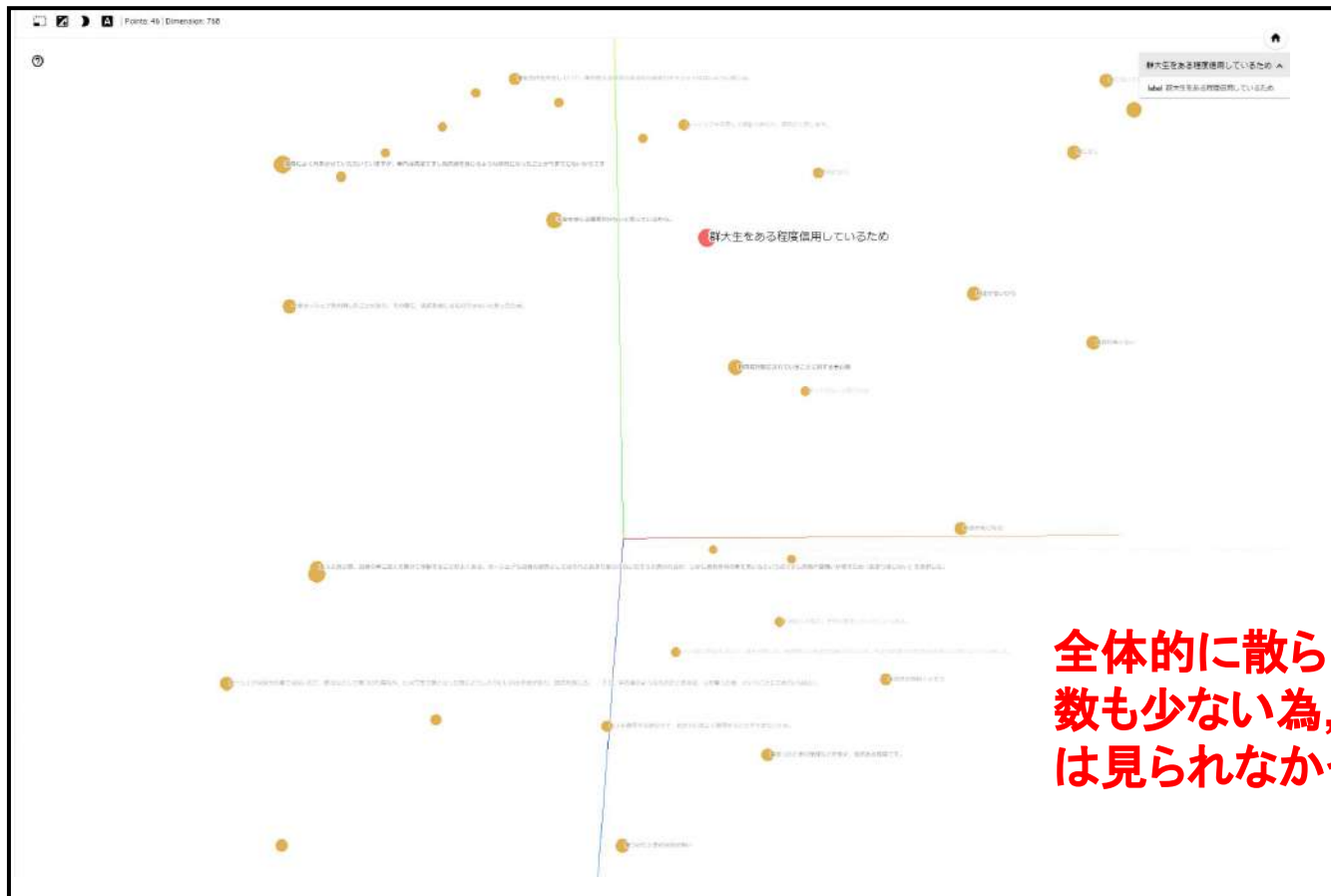
ベクトル化した回答(768次元)を  
3次元の空間にマッピング



# 抵抗ありの記述を可視化する



# 抵抗なしの場合



全体的に散らばっていて、データ数も少ない為、傾向のようなものは見られなかった

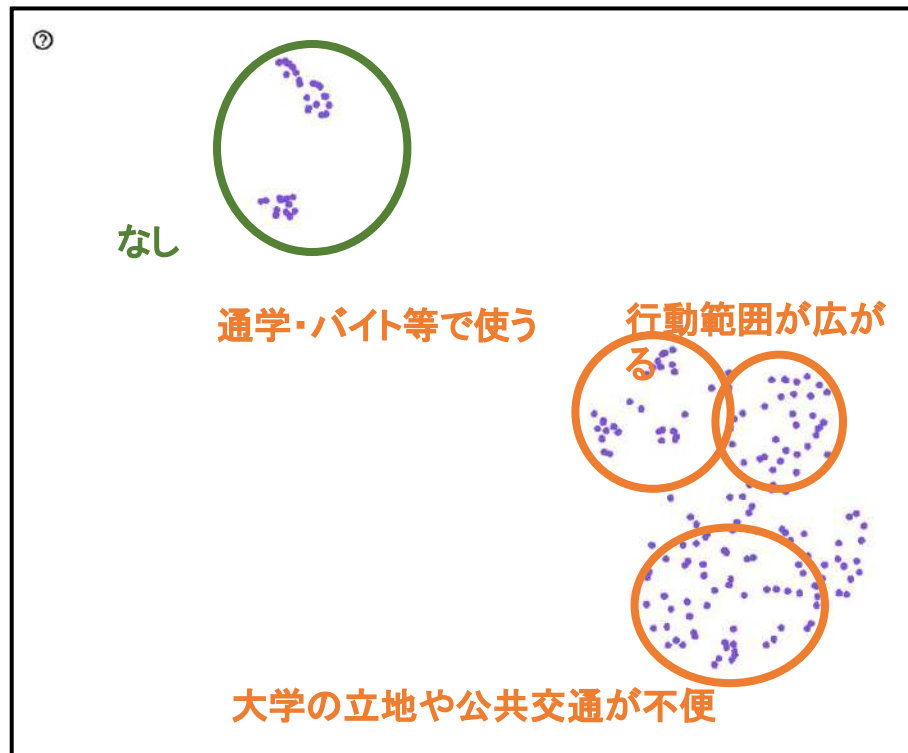


## ■ Q31. 入学前後で車の必要性に変化があったか

- 変化なしに人数が32人 (190人中)
- 変化ありは,
  - ▶ 行動範囲が広がる (72人)
  - ▶ 通学・バイト等で使う (31人)
  - ▶ 大学の立地や公共交通が不便 (55人)

のクラスタに分けられた

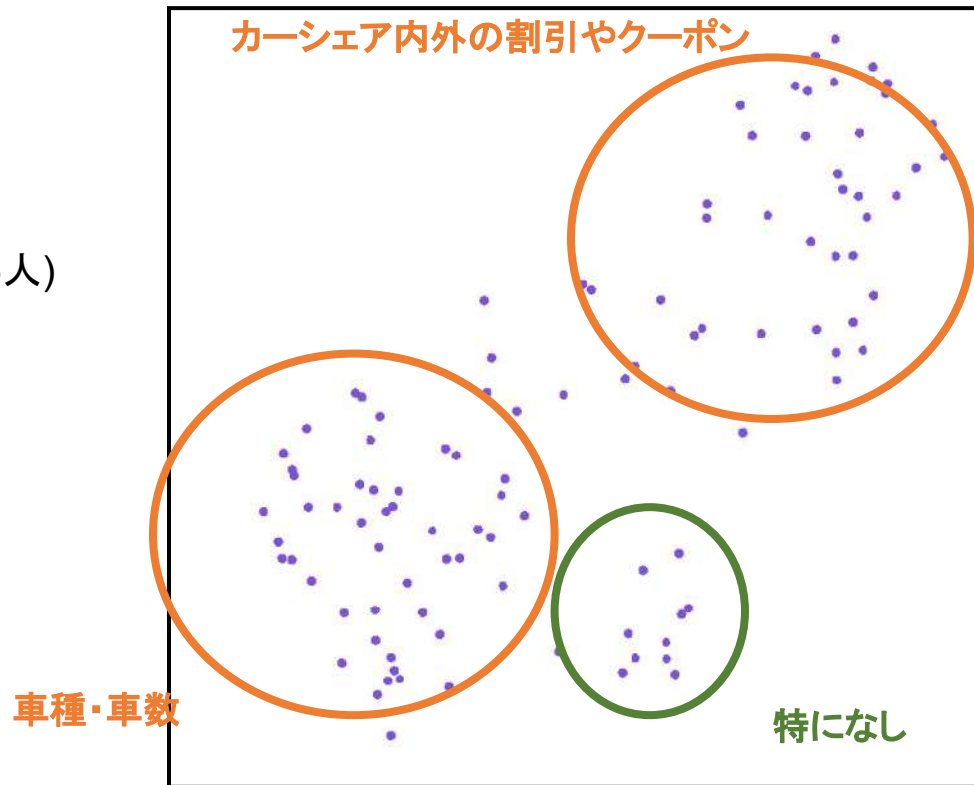
- 変化ありと変化なしで明確に分類され、**変化ありの多くが入学後車の必要性を感じるようになった**



## ■ Q44. どのようなサービスやキャンペーンがあったらよいか

- 点がほぼ均一に散らばっている
  - ▶ 多種多様な意見が得られた
- 回答 (計106人) は主に,
  - ▶ カーシェア内外の割引やクーポン (56人)
  - ▶ 車種・車数 (43人)

に関する意見に分けられた。

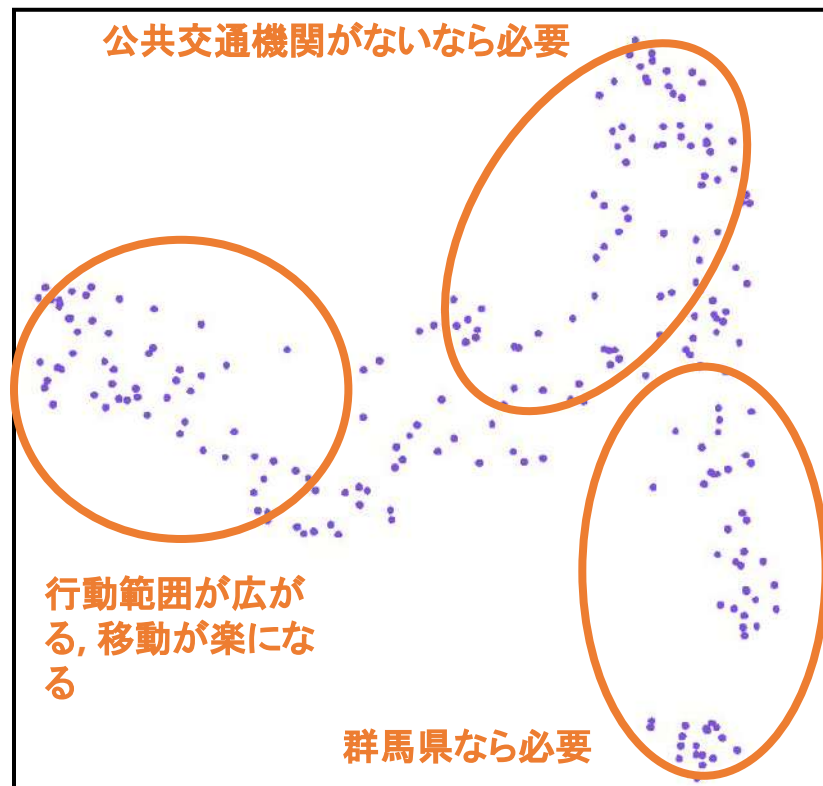


## ■ Q45. 自動車を所有することについて, どのように考えるか

- 回答 (計232人) は,
  - ▶ 群馬県なら必要 (35人)
  - ▶ 行動範囲が広がる, 移動が楽になる (74人)
  - ▶ 公共交通機関がないなら必要 (123人)

にクラスタリングできた

- “車社会”ほど必要という意見が多く,  
特に**群馬県について言及している人が  
多い**

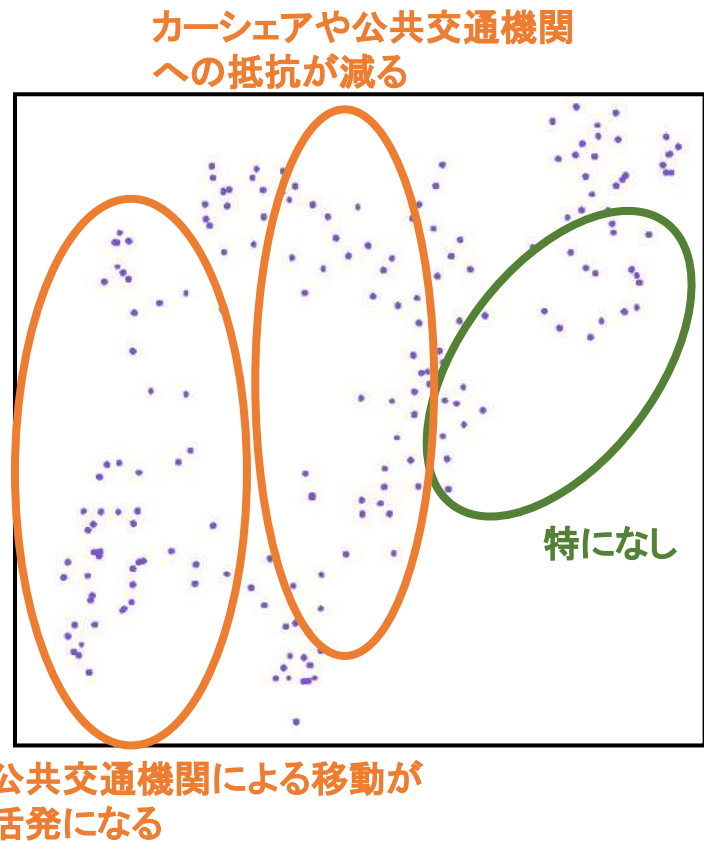


## ■ Q46. 新型コロナが「5類相当」になったことによる、 移動に関する価値観の影響

- 回答 (計193人) は,
  - ▶ 特になし (32人)
  - ▶ 公共交通機関による移動が活発になる (97人)
  - ▶ カーシェアや公共交通機関への抵抗が減る (64人)

にクラスタリングできた

- **公共交通機関などの”密”な移動手段が活発になる**という意見を持っている傾向にあった

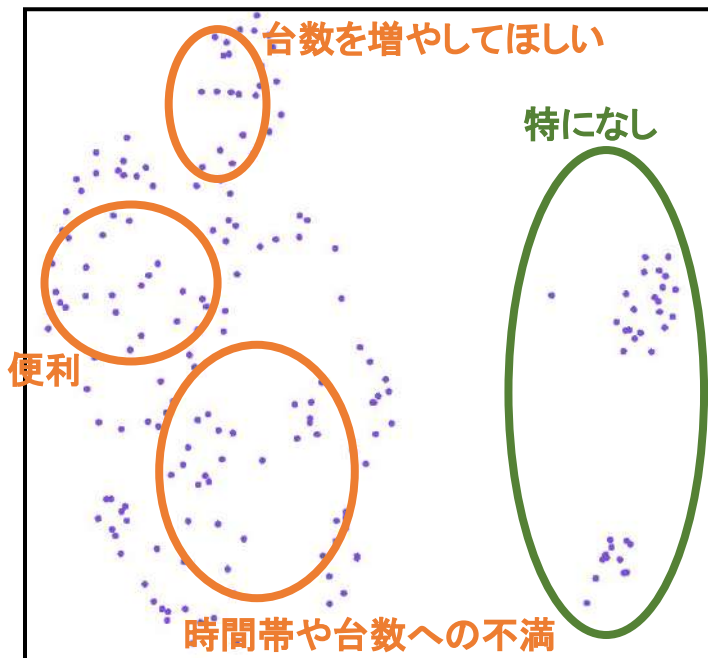


## ■ Q.9 ワンウェイサービスに関するコメント, 意見

- 回答 (計86人) は,
  - ▶ 特になし (22人)
  - ▶ 台数を増やしてほしい(11人)
  - ▶ 時間帯や台数への不満 (33人)
  - ▶ 便利 (20人)

にクラスタリングできた

- 自由記述の中では比較的回答者数が低く,  
**特に台数に不満を持っている傾向**にあった



### 3. まとめ

- 公共交通機関による移動に抵抗を感じない人が増加した
- カーシェアでの移動に抵抗を感じない人が年々増加している
- 多くの学生が群馬大学への入学後に車の必要性を感じている  
⇒「群馬県ならば所有する必要がある」と考える傾向が見えた



コロナ明けによる移動の活発化がみられた

群馬という環境においては車の必要性を感じる人が多い